

津市監第37号
令和4年10月20日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 小 津 直 久
津市監査委員 安 藤 友 昭
津市監査委員 安 井 広 伸
津市監査委員 堀 口 順 也

令和3年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の令和3年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和2年津市監査委員告示第3号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

- 1 令和3年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 令和3年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 令和3年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

令和 3 年度

榊原財産区会計
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和3年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和4年9月1日から10月18日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,561万3千円（表1参照）、歳出決算額は2,282万9千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,248万8千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,468	22,488	87.8	100.1	22,676	94.0	△188	△0.8
繰入金	1,375	1,375	5.4	100.0	0	0.0	1,375	0.0
繰越金	100	1,748	6.8	—	1,435	6.0	313	21.8
諸収入	2	3	0.0	150.0	3	0.0	0	0.0
計	23,945	25,613	100.0	107.0	24,115	100.0	1,498	6.2

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、財産費1,948万6千円、議会費171万7千円である。

表2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	1,763	1,717	7.5	97.4	1,717	7.7	0	0.0
総務費	333	308	1.3	92.5	419	1.9	△111	△26.5
財産費	20,346	19,486	85.4	95.8	19,051	85.2	435	2.3
積立金	718	718	3.1	100.0	908	4.1	△190	△20.9
諸支出金	700	601	2.6	85.9	271	1.2	330	121.8
予備費	85	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	23,945	22,829	100.0	95.3	22,367	100.0	462	2.1

2 財産に関する調書

財産の令和3年度中の増減高及び令和3年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和3年度末現在高は1,226万4,018平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和3年度中に2,097立方メートル増加し、令和3年度末現在高は13万1,875立方メートルである。

出資による権利については、令和3年度中の増減はなく、令和3年度末現在高は84万円である。

表3 公有財産の状況

区分		単位	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高	
土地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918	
	山林	直営	m ²	1,962,983	47,903	2,010,886
		貸付	m ²	10,300,116	△47,903	10,252,213
	合計		m ²	12,264,018	0	12,264,018
立木の推定蓄積量		m ³	129,778	2,097	131,875	
出資による権利		千円	840	0	840	

(2) 物品

物品は軽貨物自動車で、表4のとおり令和3年度中に増減はなく、令和3年度末現在高は2台である。

表4 物品の状況

(単位：台)

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
軽貨物自動車	2	0	2

(3) 基金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表5のとおり令和3年度中に65万7千円減少し、令和3年度末現在高は3,548万7千円である。

表5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
榊原財産区財政調整基金	36,144	△ 657	35,487

3 まとめ

令和3年度決算の状況を見ると、安定した土地貸付収入の範囲内で必要経費を賄っており、持続可能な財政運営を堅持している。

引き続き、計画的な森林区画の確認、林道整備等を進めるなど、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 3 年度

河内財産区会計
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和3年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和4年9月1日から10月18日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は27万8千円（表1参照）、歳出決算額は21万7千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額は、繰入金18万5千円、繰越金9万3千円である。

表1 歳入内訳表

（単位：千円・％）

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	238	185	66.5	77.7	278	75.1	△93	△33.5
繰越金	80	93	33.5	116.3	91	24.6	2	2.2
諸収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	320	278	100.0	86.9	370	100.0	△92	△24.9

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、議会費19万9千円、財産費1万7千円である。

表2 歳出内訳表 (単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	208	199	91.7	95.7	203	73.6	△4	△2.0
総務費	27	2	0.9	7.4	55	19.9	△53	△96.4
財産費	74	17	7.8	23.0	19	6.9	△2	△10.5
基金積立金	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	320	217	100.0	67.8	276	100.0	△59	△21.4

2 財産に関する調書

財産の令和3年度中の増減高及び令和3年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和3年度末現在高は、土地が13万278平方メートル、建物が木造1棟63平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和3年度中に353立方メートル増加し、令和3年度末現在高は2万4,147立方メートルである。

表3 公有財産の状況

区分		単位	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
土地	山林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河内公民館	m ²	63	0	63
立木の推定蓄積量		m ³	23,794	353	24,147

(2) 基金

基金は河内財産区財政調整基金で、表4のとおり令和3年度中に18万5千円減少し、令和3年度末現在高は355万円である。

表4 基金の状況 (単位：千円)

区分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
河内財産区財政調整基金	3,735	△185	3,550

3 まとめ

令和 3 年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 66.5 パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 3 年度

波瀬財産区会計
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和3年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和4年9月1日から10月18日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は62万円(表1参照)、歳出決算額は60万7千円(表2参照)である。歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、繰入金40万円、財産収入14万3千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	141	143	23.1	101.4	143	21.6	0	0.0
繰入金	514	400	64.5	77.8	450	67.9	△50	△11.1
繰越金	61	77	12.4	126.2	56	8.4	21	37.5
諸収入	1	0	0.0	0.0	14	2.1	△14	△100.0
計	717	620	100.0	86.5	663	100.0	△43	△6.5

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 49 万 4 千円、総務費 11 万 3 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和3年度				令和2年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	536	494	81.4	92.2	471	80.2	23	4.9
総 務 費	131	113	18.6	86.3	116	19.8	△ 3	△ 2.6
予 備 費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	717	607	100.0	84.7	587	100.0	20	3.4

2 財産に関する調書

財産の令和 3 年度中の増減高及び令和 3 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 3 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 3 年度中に 2,048 立方メートル増加し、令和 3 年度末現在高は 13 万 2,419 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 3 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高	
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208	
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887	
	山 林	直 営	m ²	1,006,356	0	1,006,356
		貸 付	m ²	1,184	0	1,184
	合 計	m ²	1,009,635	0	1,009,635	
立木の推定蓄積量		m ³	130,371	2,048	132,419	
出資による権利		千円	586	0	586	

(2) 基 金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 3 年度中に 39 万 3 千円減少し、令和 3 年度末現在高は 1,189 万 7 千円である。

表4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度末現在高	令和3年度中増減高	令和3年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	12,290	△ 393	11,897

3 まとめ

令和3年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の64.5パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。